

資料3 地域別のみどりの現状

3-1 北部地域

(1)概況

北部地域は、北側半分は市街地が広がり、南側半分は信太山丘陵が広がっています。市街地の大部分は住宅地です。

近年は人口が減少しつつあり、本市の中では少子高齢が進む地域です。

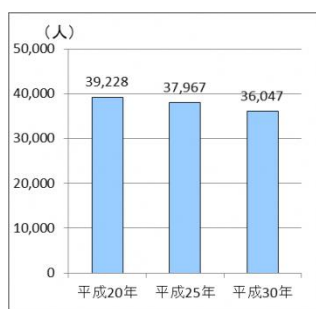


図 人口の変化

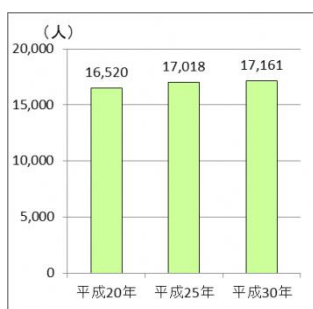


図 世帯数の変化

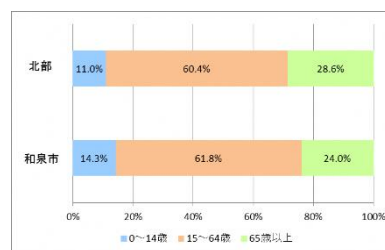


図 年齢別人口構成（平成30年（2018年））

出典：統計いずみ（各年3月末時点）

表 地域の主な資源

地域で大切にされてきた歴史文化遺産や社寺	池上曾根遺跡、和泉黄金塚古墳、丸笠山古墳、葛葉稲荷神社、蔭涼寺、聖神社、八坂神社、西教寺
公園、緑、水などの豊かな自然環境	鶴山台志保池公園、信太山丘陵、聖神社周辺の自然、惣ヶ池
歴史的なまちなみや新しいまちなみ、建物	小栗街道のまちなみ、信太の森の鏡池・信太の森ふるさと館、佐竹硝子、日本人造真珠硝子細貨工業組合（リアーナ）、大阪府立弥生文化博物館、JR 駅前（北信太駅、信太山駅）
お祭り・行事	だんじり、信太山盆踊り、信太山クロスカントリー
その他	いずみ硝子、いずみパール

出典：和泉市都市計画マスタープラン市民意向調査、和泉市観光ガイド、市資料より

(2)地域のまちづくり方針

<北信太駅や信太山駅周辺>

- ・ 駅前にふさわしい土地利用誘導やアクセス道路の整備

<幹線道路>

- ・ 大阪岸和田南海線や大阪和泉泉南線の整備

<老朽化が進む住宅団地>

- ・ 改修や建て替え

<小栗街道>

- ・ 歴史的まちなみの形成促進

<信太山丘陵>

- ・ 市有地を市民の憩いの場、自然体験の場、環境学習の場として活用

(3)みどりの現状

<緑被の状況>

南側半分に広がる信太山丘陵により、樹林地・草地により、比較的、緑被率が高い地域です。鶴山台団地等の住宅地はみどりが計画的に整備され、良好な住宅環境が形成されています。場所によっては道が狭く建物が建て詰まっているところもあり、みどりの整備が十分でないところもあります。

<特徴的なみどり>

- 信太山丘陵のみどり：自然度の高いヨシ等の湿生植物のほか、自然林に近いシイ・カシ林等の植生。カスミサンショウウオ（絶滅危惧種Ⅰ類：大阪府、絶滅危惧種Ⅱ類：環境省）等の希少な動植物。惣ヶ池等の規模の大きなため池
- 聖神社のみどり：シリブカガシ林（特定植物群落）
- 池上曾根遺跡のみどり：弥生時代の環濠集落遺跡。建物や井戸が復元されているほか、史跡公園として整備
- その他のみどり：和泉黄金塚古墳、葛葉稻荷神社等の歴史的資源

<みどりの担保性>

- 都市公園・緑地等：鶴山台志保池公園、鶴山台惣ヶ池公園等のみどり
- 指定文化財、社寺林：池上曾根遺跡、和泉黄金塚古墳、聖神社、葛葉稻荷神社等のみどり
- 農用地区域、生産緑地：農地のみどり
- 自衛隊の演習場：信太山丘陵のみどり



信太山丘陵



鶴山台惣ヶ池公園



池上曾根遺跡



和泉黄金塚古墳

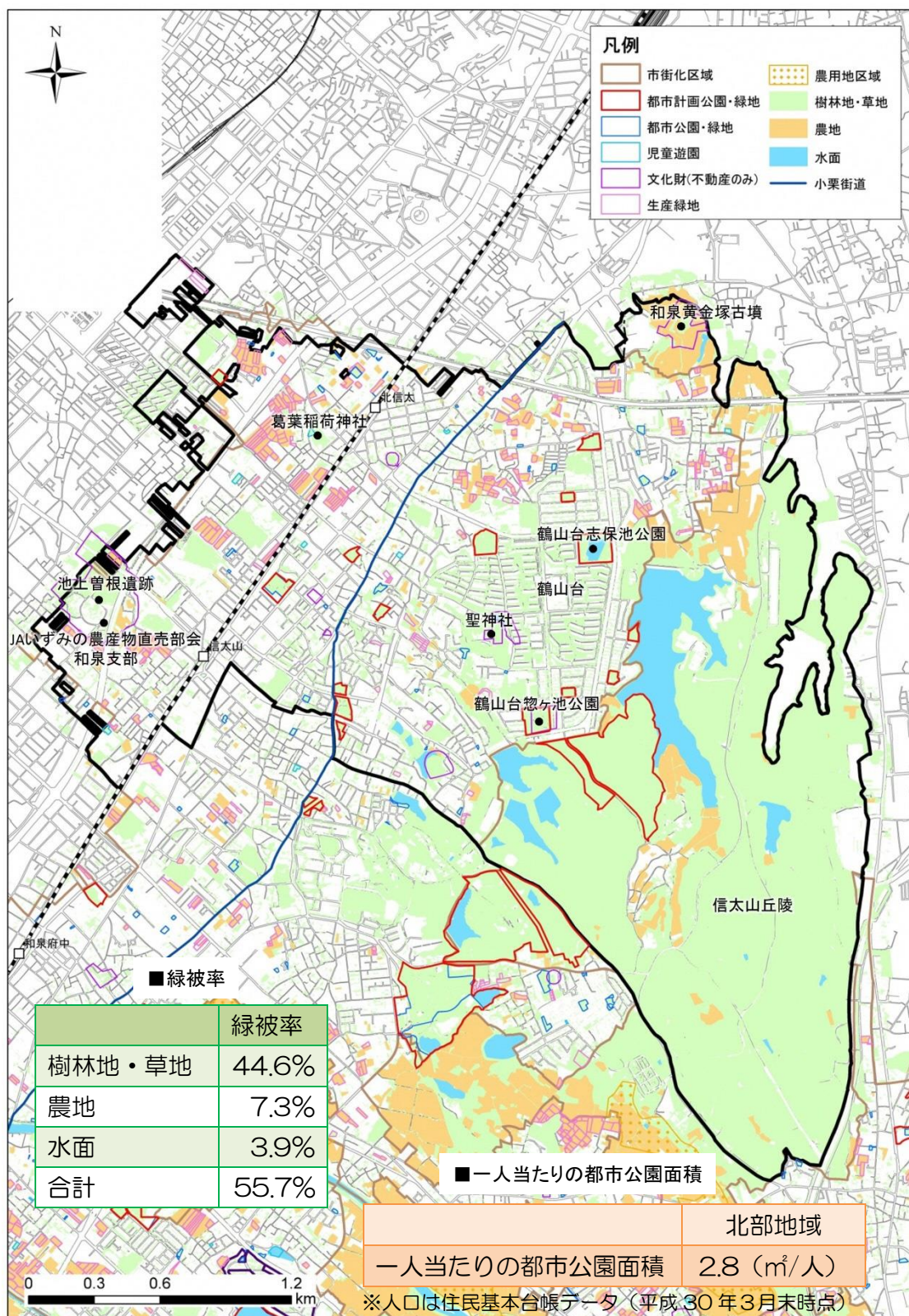


図 みどりの現状

(4)みどりのまちづくりの課題

<北信太山駅や信太山駅周辺のみどりの創出>

- 北信太山駅や信太山駅周辺は、地域の拠点としてのまちづくりが求められており、駅前広場や駅へのアクセス道路の整備等と合わせて、みどりのまちづくりを進める必要があります。

<主要幹線道路の緑化推進と維持管理>

- 大阪和泉泉南線や大阪岸和田南海線の整備にあたっては、地域の協力を得ながら沿道の緑化に取り組むなど、みどりのまちづくりに寄与する動きが必要です。また既存の街路樹等についても適切な維持管理が必要です。

<住宅地のみどりの保全と創出>

- 住宅地の中でも鶴山台団地等の住宅地は、みどりが計画的に整備されており、これらを適切に維持管理していくことが必要ですが、老朽化しつつある団地等もあり、団地の再生・再編に合わせた緑化が必要です。
- 場所によっては、道が狭く建物が建て詰まっているところがあります。このような場所では、新たなみどりを増やすための用地を確保することが難しいため、立体的な緑化、道路残地の緑化、民地の緑化誘導等に取り組んでいく必要があります。

<信太山丘陵の保全と活用>

- 信太山丘陵は、市街地に残された規模の大きな貴重なみどりであり、自然度の高いヨシ等の湿生植物等の豊かな自然環境を有していることから、適切に保全・活用していくことが必要です。また周囲には聖神社のシリーブカガシ林等のような重要な植生が残されたところもあり、保全にあたってはこれらと一体となった取り組みが必要です。

<池上曾根遺跡などの歴史・文化資源の保全と活用>

- みどりの拠点として位置付けた池上曾根遺跡では遺跡の保存を図るとともに、周辺地域と一体となったみどりのまちづくりが必要です。また、小栗街道の歴史的なまちなみの保全とともに、和泉黄金塚古墳等の周辺の歴史・文化資源とともにネットワーク化を図るなど、連携した活用が必要です。

3-2 北西部地域

(1) 概況

北西部地域は、公共施設や商業施設などの集積地と、その周辺の住宅地及び農地により構成されています。古くから市の都市拠点としての役割を担ってきました。人口が増加しつつある地域で、少子高齢化の程度は、本市の平均程度です。

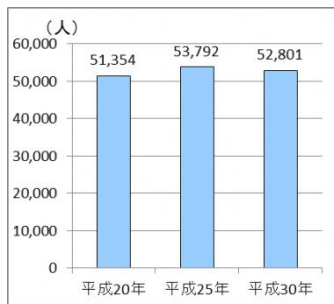


図 人口の変化

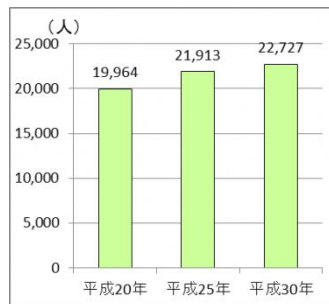


図 世帯数の変化

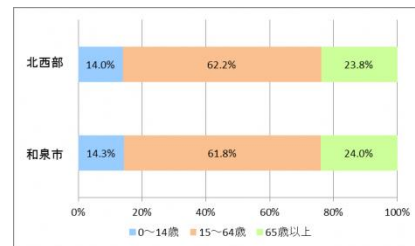


図 年齢別人口構成 (平成30年(2018年))

出典：統計いずみ (各年3月末時点)

表 地域の主な資源

地域で大切にされてきた歴史文化遺産や社寺	観音寺城跡、観音寺山遺跡、和泉国府跡、泉井上神社、郷荘神社、禅寂寺、西福寺雷井戸
公園、緑、水などの豊かな自然環境	黒鳥山公園、槇尾川、軽部池、花木の栽培風景
歴史的なまちなみや新しいまちなみ、建物	小栗街道沿いのまちなみ、和泉府中駅前での現代的な景観
お祭り・行事	だんじり、自衛隊まつり
その他	信太山駐屯地

出典：和泉市都市計画マスタープラン市民意向調査、和泉市観光ガイド、市資料より

(2) 地域のまちづくり方針

<和泉府中駅周辺>

- ・ 公共交通の結節機能の向上や市街地環境の改善

<幹線道路>

- ・ 大阪岸和田南海線や大阪和泉泉南線の整備。商業・業務、その他産業機能の集積

<拠点>

- ・ 黒鳥山公園、槇尾川公園の整備

<小栗街道>

- ・ 歴史的まちなみの形成促進

<住宅地>

- ・ 住環境の維持保全

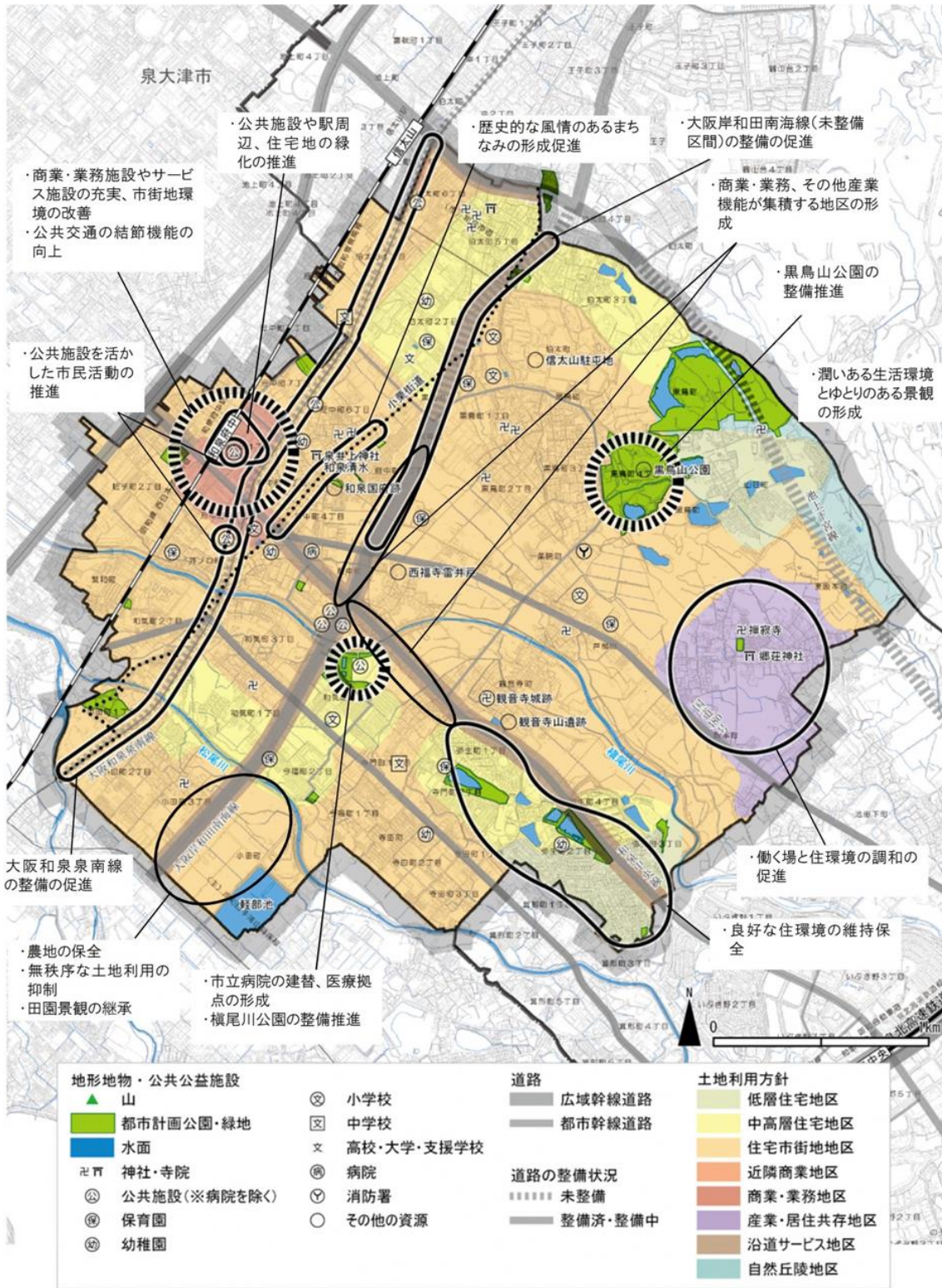


図 地域別まちづくり方針図

出典：「第2次和泉市都市計画マスタープラン（和泉市）」

(3)みどりの現状

<緑被の状況>

松尾川や槇尾川周辺に農地が広がり、比較的農地による緑被率が高い。弥生町や山荘町などでは、みどりが計画的に整備され、良好な住宅環境が形成されている。場所によっては道が狭く建物が建て詰まっているところもあり、みどりの整備が十分でないところもある。

<特徴的なみどり>

- ・ 和泉府中駅周辺のみどり：市街地再開発事業により計画的にみどりが整備
- ・ 黒鳥山公園のみどり：サクラの名所
- ・ 槇尾川公園のみどり：市立病院と一体となった公園
- ・ 槇尾川、松尾川のみどり：市の主要河川
- ・ 農地のみどり：花木の栽培
- ・ 小栗街道のみどり：古くからのまちなみ
- ・ その他のみどり：和泉国府跡、泉井上神社、禅寂寺、西福寺等の歴史・文化資源

<みどりの担保性>

- ・ 都市公園・緑地等：黒鳥山公園、槇尾川公園、小田公園等のみどり
- ・ 指定文化財、社寺林：泉井上神社、禅寂寺、西福寺等のみどり
- ・ 農用地区域、生産緑地：農地のみどり
- ・ 地域森林計画対象民有林：森林のみどり



和泉府中駅周辺



黒鳥山公園



槇尾川



泉井上神社

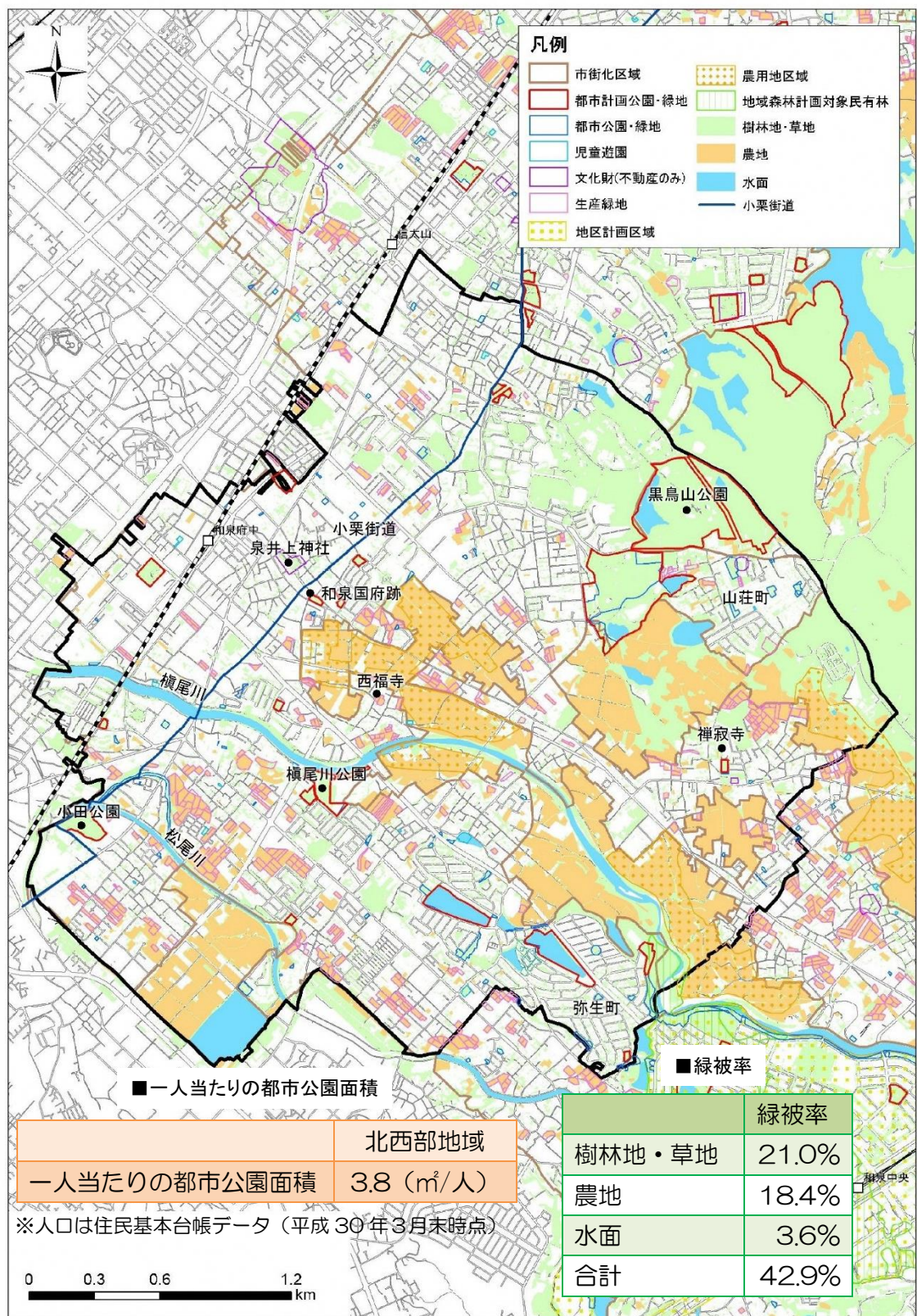


図 みどりの現状

(4)みどりのまちづくりの課題

<和泉府中駅周辺のみどりのまちづくり推進>

- 和泉府中駅周辺は、本市の顔としてのまちづくりが求められており、商業・業務施設やサービス施設の充実等とあわせた緑化の更なる推進が必要です。また、周辺地域では、庁舎の建て替えにあわせて新たなみどりの拠点となる「(仮称) イズミ広場等」が整備される予定であり、それをきっかけとしてみどりのまちづくりを進めること必要です。

<主要幹線道路の緑化推進と維持管理>

- 和泉中央線沿線は、本市のシンボルとなる軸であり、商業や業務、その他産業機能の集積とあわせて、みどりを活用した風格のあるまちづくりが必要です。
- 大阪和泉泉南線や大阪岸和田南海線の整備にあたっては、地域の協力を得ながら沿道の緑化に取り組むなど、みどりのまちづくりに寄与する動きが必要です。また既存の街路樹等についても適切な維持管理が必要です。

<住宅地のみどりの保全と創出>

- 住宅地の中でも、弥生町や山荘町などでの新しい住宅地は、みどりが計画的に整備されており、これらを適切に維持管理し、良好な住環境を維持保全していくことが必要です。
- 場所によっては、道が狭く建物が建て詰まっているところがあります。また、働く場所と住環境が混在しているところもあります。働く場所と住環境との調和を図りながら、立体的な緑化、道路残地の緑化、民地の緑化誘導等に取り組んでいくことが必要です。

<松尾川や槇尾川とその周辺の農地の保全と活用>

- 松尾川や槇尾川周辺に農地が広がっています。これらの農地は、市街地近郊にあって貴重なみどりとなっており、無秩序な土地利用の抑制等により農地の保全と田園景観の継承が必要です。

<小栗街道のまちなみ保全と周囲の歴史・文化資源と一体となった活用>

- 小栗街道には風情ある歴史的なまちなみが残されており、その保全とともにみどりのまちづくりが必要です。また周囲には社寺等の歴史・文化資源も多く、それらとネットワーク化を図るなど連携した活用が必要です。

<黒鳥山公園の公園の整備>

- 黒鳥山公園は、本市のサクラの名所で市民の憩いの場として重要な場所です。また、信太山丘陵とも隣接しており、一体となったみどりの保全・維持管理と、適切な活用が必要です。

3-3 中部地域

(1) 概況

本市中央の丘陵部分に位置します。大規模開発により整備されたニュータウンが広がっています。谷部には古くからの市街地が形成されています。

人口は増加傾向にあり、少子高齢化の進行は緩やかです。

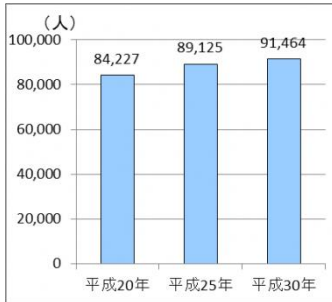


図 人口の変化

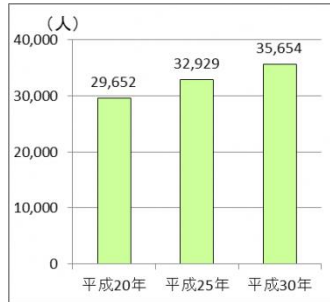


図 世帯数の変化

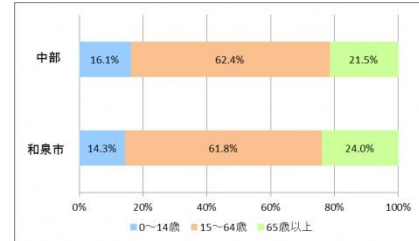


図 年齢別人口構成 (平成30年(2018年))

出典：統計いずみ (各年3月末時点)

表 地域の主な資源

地域で大切にされてきた歴史文化遺産や社寺	松尾寺
公園、緑、水などの豊かな自然環境	中央公園、和泉リサイクル環境公園、宮ノ上公園、光明池緑地、くすのき公園、松尾寺公園、コスモ中央公園、光明池、谷山池、槇尾川、松尾川、ふるさとの川 (通称：内田町ひつじ公園)、納花トンネル以南ののどかな田園の風景、黒石大橋からの山の景色、虫など多様な生物が生息するまち
歴史的なまちなみや新しいまちなみ、建物	和泉中央駅周辺の美しいまちなみ、久保惣記念美術館、泉北高速鉄道光明池車庫、和泉シティプラザ、いずみの国歴史館、大阪府立産業技術総合研究所、桃山学院大学
お祭り・行事	だんじり、ジャズストリート

出典：和泉市都市計画マスタープラン市民意向調査、和泉市観光ガイド、市資料より

(2) 地域のまちづくり方針

<和泉中央駅周辺>

- 行政・公共サービス機能、文化・交流機能の充実
- 商業機能の充実

<幹線道路>

- 国道170号(大阪外環状線)沿道の景観形成

<拠点>

- 久保惣記念美術館周辺の来訪促進のための環境づくり
- 松尾寺公園の整備
- 南松尾はつが野学園の整備

<新しい住宅地>

- みどり豊かなまちなみの維持

<古くからの住宅地>

- 道路や公園・緑地などの整備、良好な住宅地環境の整備

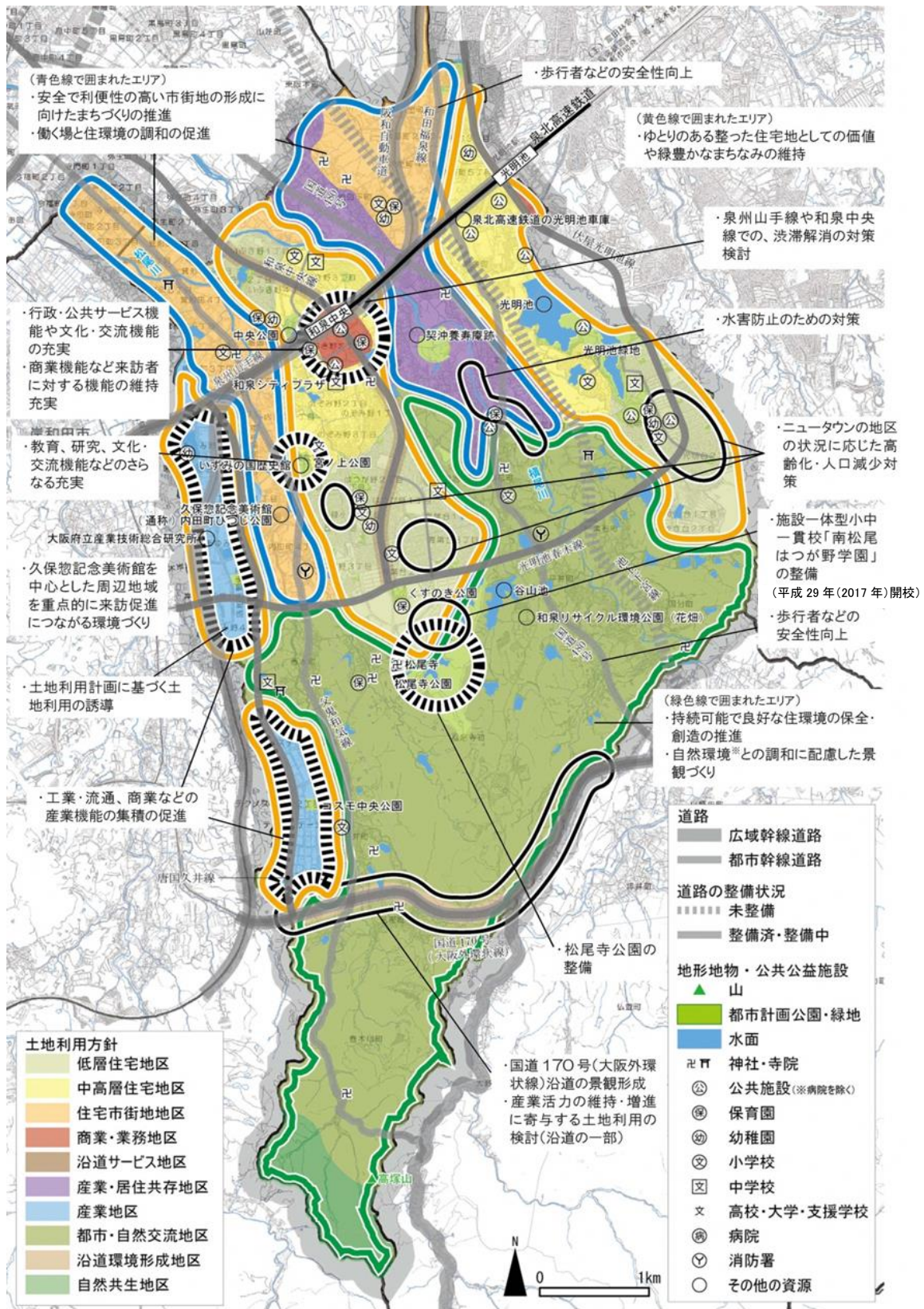


図 地域別まちづくり方針図

出典：「第2次和泉市都市計画マスタープラン（和泉市）」

(3)みどりの現状

<緑被の状況>

南部の丘陵地のみどりにより、比較的、樹林地・草地による緑被率が高い地域です。

いぶき野、はつが野、青葉台、緑ヶ丘、光明台、テクノステージ和泉等では、みどりが計画的に整備され、良好なまちなみが形成されています。場所によっては道が狭く建物が建て詰まっているところもあり、みどりの整備が十分でないところもあります。

<特徴的なみどり>

- ・ 和泉中央駅周辺、ニュータウン、産業団地のみどり：計画的にみどりが整備
- ・ 桃山学院大学、いずみの国歴史館等のみどり：教育・文化施設のみどり
- ・ 久保惣記念美術館とその周辺のみどり：落ち着いた街並み
- ・ 松尾寺、春日神社等のみどり：紅葉、大木
- ・ 光明池等のため池、槇尾川、松尾川のみどり：憩いの場、生物の生息・生育の場
- ・ 農地、山林のみどり：果樹園等、里山的景観、豊かな自然環境

<みどりの担保性>

- ・ 都市公園・緑地等：中央公園、宮ノ上公園、光明池公園、コスモ中央公園、光明池緑地、松尾寺公園等のみどり
- ・ 地区計画制度、緑地協定：住宅地等のみどり
- ・ 指定文化財、社寺林：松尾寺、高橋家住宅、春日神社等のみどり
- ・ 農用地区域、生産緑地：農地のみどり
- ・ 保安林、地域森林計画対象民有林：森林のみどり



光明池緑地



松尾寺



ニュータウンのみどり



古くからの集落

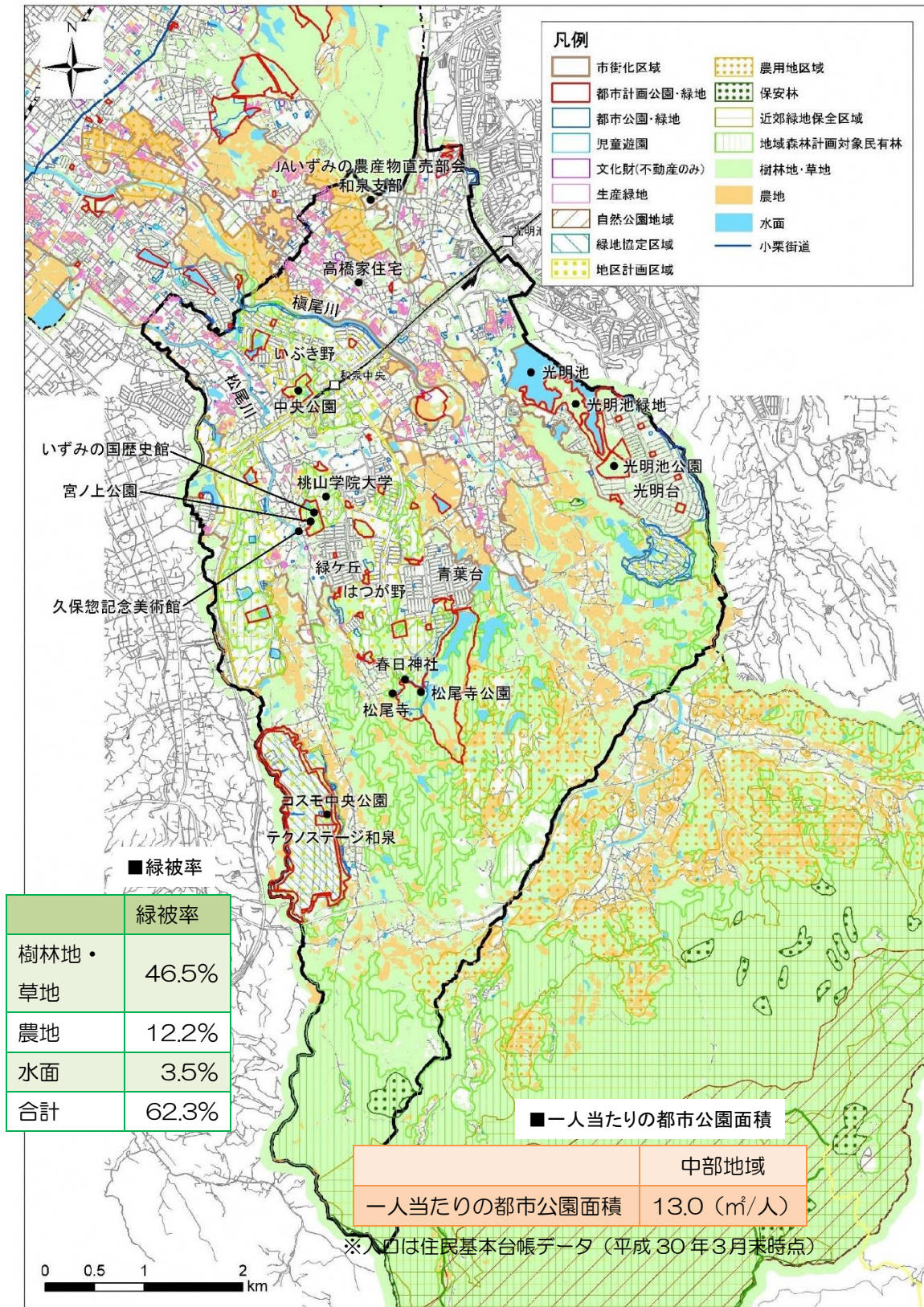


図 みどりの現状

(4)みどりのまちづくりの課題

<和泉中央駅周辺の本市の顔としてのみどりのまちづくり>

- ・和泉中央駅周辺は「新都心」として位置付けられており、本市の顔としてのまちづくりが求められています。行政・公共サービス機能や文化・交流機能の充実等とあわせ、緑化の更なる推進が必要です。

<主要幹線道路の緑化推進と維持管理>

- ・和泉中央線沿線は、本市のシンボルとなる軸であり、街路樹等の既存のみどりの維持管理とさらなる緑化の推進、周辺の小中学校、住宅地、社寺等とともに、みどりを活用した風格のあるまちづくりが必要です。
- ・国道170号（大阪外環状線）沿道にあっては、良好な景観形成を図ることとしており、周辺の土地利用検討とあわせて緑化の推進が必要です。
- ・交通量の多い道路では、歩行者の安全性確保対策とあわせて、みどりによる快適な歩行環境の整備が必要です。

<「久保惣記念美術館」等周辺のみどりのまちづくり>

- ・「久保惣記念美術館」や「桃山学院大学」、「宮ノ上公園」周辺は、教育、研究、文化・交流機能などのさらなる充実を図ることとしています。これらの機能向上とあわせた緑化の推進や、久保惣記念美術館を中心とした来訪者促進の環境づくりと一体となって、みどりのまちづくりが必要です。

<住宅地のみどりの保全と創出>

- ・住宅地の中でも、いぶき野、はつが野、緑ヶ丘、光明台などの住宅地は、みどりが計画的に整備されており、これらを適切に維持管理していくことが必要です。一方で、高齢化や人口が減少しつつあるところも見られ、今後の空家対策等とも合わせ、みどりのまちづくりが必要です。
- ・場所によっては、道が狭く建物が建て詰まっているところがあります。また働く場所と住環境が混在しているところもあります。安全で利便性の高い市街地の形成に向けた動きと合わせて緑化を推進するとともに、民地の緑化誘導等に取り組んでいくことが必要です。

<「テクノステージ和泉」のみどりの維持管理>

- ・「テクノステージ和泉」は、計画的なみどりの整備や事業者による敷地内緑化が行われており、これらのみどりの適切な維持管理が必要です。また今後の工業・流通・商業などの産業機能の更なる集積とあわせて緑化の誘導を図ることが必要です。

<松尾川や槇尾川、農地やため池、林地の保全と活用>

- 松尾川や槇尾川周辺、和泉山脈のすそ野には農地やため池、林地が広がっています。これらの農地や林地は、市街地近郊に残る貴重なみどりであり、みどりの保全とともに自然環境との調和に配慮した景観づくりが必要です。また、松尾川や槇尾川は本市のみどりの軸を形成しており、周辺緑地と一体的に河畔林の保全や水辺の活用が必要です。水害防止の対策にあたってのみどりの保全への配慮が必要です。

<松尾寺公園の整備>

- 松尾寺公園は、みどりの拠点として位置付けており、ため池等を活用した市の中心的な都市公園として今後も整備が必要です。

3-4 南部地域

(1) 概況

地域の大部分が和泉山脈に属します。谷筋に集落や田畑が分布しています。豊かな自然環境が残されており、金剛生駒紀泉国定公園に指定されています。

人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進行しています。

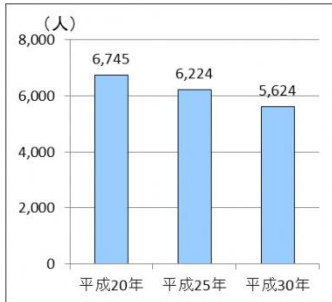


図 人口の変化

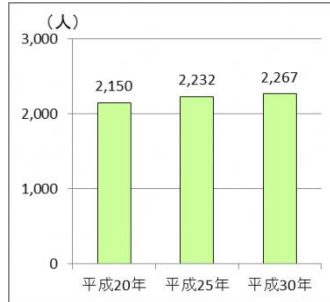


図 世帯数の変化

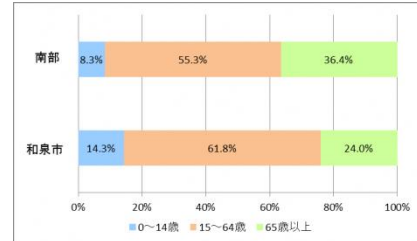


図 年齢別人口構成 (平成30年(2018年))

出典：統計いずみ (各年3月末時点)

表 地域の主な資源

地域で大切にされてきた歴史文化遺産や社寺	槇尾山施福寺、鳳林寺、阿弥陀寺、男乃宇刀神社、満願の滝
公園、緑、水などの豊かな自然環境	金剛生駒紀泉国定公園、ダイヤモンドトレール、近畿自然歩道、槇尾山グリーンランド、槇尾川、松尾川 槇尾山、南部地域の山々や自然環境、横山地区の自然ホタルなど多様な生物が生息するまち、白川
歴史的なまちなみや新しいまちなみ、建物	道の駅いずみ山愛の里、青少年の家 いずみふれあい農の里 (農業体験交流施設)
お祭り・行事	笹踊り

出典：和泉市都市計画マスタープラン市民意向調査、和泉市観光ガイド、市資料より

(2) 地域のまちづくり方針

< 幹線道路 >

- ・ 国道170号 (大阪外環状線) 沿道の景観形成

< 拠点 >

- ・ スポーツ拠点の整備
- ・ (仮称) 農業振興研究施設の整備
- ・ 槇尾川上流部の、緑とのふれあい空間の形成
- ・ 地域資源の活用による都市農村交流

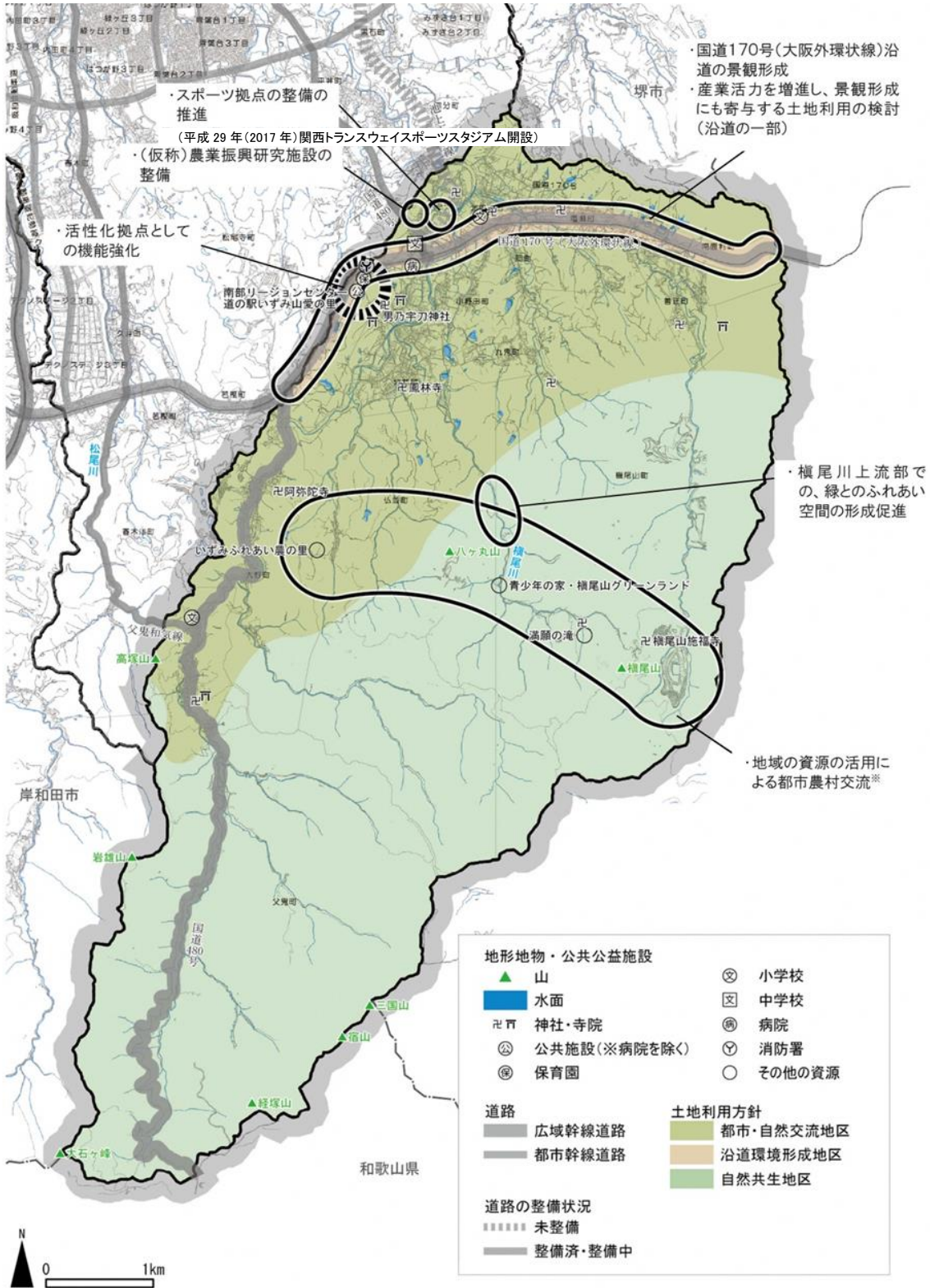


図 地域別まちづくり方針図

出典：「第2次和泉市都市計画マスタープラン（和泉市）」

(3)みどりの現状

<緑被の状況>

大部分が樹林地・草地、農地であり、緑被率は高いです。

<特徴的なみどり>

- ・ 和泉山脈、槇尾川のみどり：大部分が植林地（スギ・ヒノキ・サウラ植林）、二次林（アベマキ・コナラ群集、モチツツジ・アカマツ群集）、一部に自然植生（アカガ群落、ケヤキ・ムクノキ群集等）
- ・ 槇尾山施福寺のみどり：カヤの巨木
- ・ 槇尾山グリーンランド、青少年の家周辺のみどり：自然学習、レクリエーション体験
- ・ いずみふれあい農の里、道の駅いずみ山愛の里等のみどり：農業体験、直売所等
- ・ 近畿自然歩道、ダイヤモンドトレールのみどり：自然歩道
- ・ その他のみどり：鳳林寺、男乃宇刀神社、阿弥陀寺、満願の滝

<みどりの担保性>

- ・ 自然公園地域、保安林、地域森林計画対象民有林、近郊緑地保全地域：森林のみどり
- ・ 農用地区域：農地のみどり
- ・ 社寺林：槇尾山施福寺、鳳林寺、男乃宇刀神社、阿弥陀寺等のみどり
- ・ 児童遊園：小野田児童遊園、大畑児童遊園、坪井児童遊園、九鬼児童遊園等のみどり



和泉山脈の山林



いずみふれあい農の里



市内農産物の直販



森林ウォーキングイベント

■一人当たりの都市公園面積

	南部地域
一人当たりの都市公園面積	0.0 (㎡/人)

※人口は住民基本台帳データ（平成30年3月末時点）

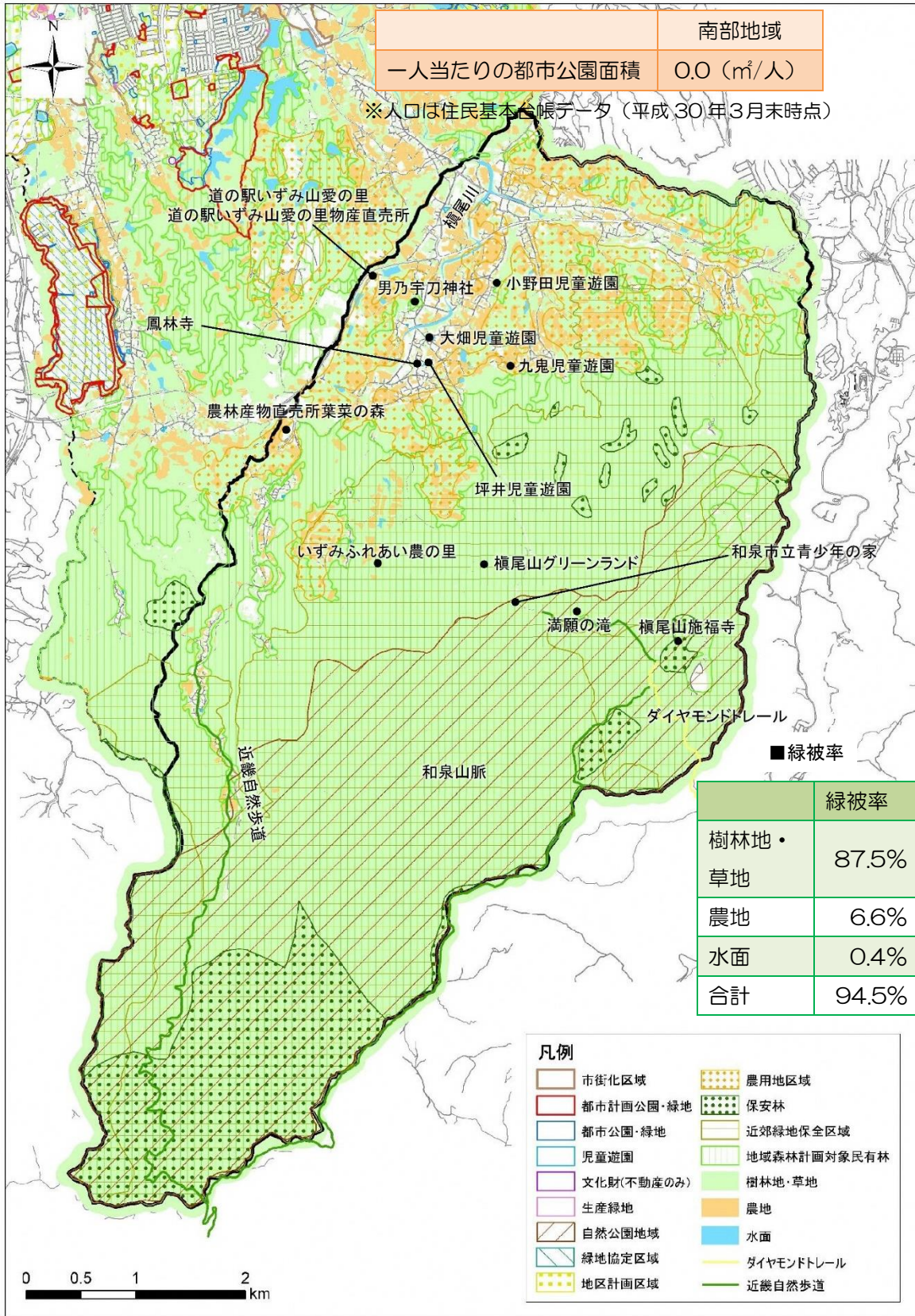


図 みどりの現状

(4)みどりのまちづくりの課題

<和泉山脈の自然環境の保全と活用>

- 和泉山脈や槇尾川上流は大部分が植林地ですが、一部に自然度の高い植生が残るなど豊かな自然環境を有しており保全が必要です。また防災・減災の考え方からも、林業振興による山林の保全・育成が必要です。
- 槇尾山施福寺等の歴史・文化資源が位置するとともに、自然公園に指定されており、東海自然歩道やダイヤモンドトレール等の遊歩道や槇尾山グリーンランド等のレクリエーション施設が整備されています。これらの施設と連携しながら、身近に自然とふれあえる場としての整備と活用が必要です。

<地域活力を高める農の拠点の活用>

- 人口減少・少子高齢化が進む地域であり、地域活力を高めるためにも、地域の優れた自然環境や農産物を活かした観光、交流、体験などの都市農村交流の活動を進める必要があります。
- 「南部リージョンセンター」や「いずみふれあい農の里」等の農の拠点を活用し、地域農産物の販売や農業体験の場の提供を図るなど、市民の農業への関心を高め、また都市農村交流を進めます。

<自然とのふれあいの場としての槇尾川上流のダム事業用地の整備・活用>

- 槇尾川上流のダム事業用地では、自然とふれあう府民の交流の場となっており、みどりの拠点としての整備・活用が必要です。

<主要幹線道路沿道のみどりを活用した景観形成>

- 国道 170 号（大阪外環状線）沿道にあっては、良好な景観形成を図ることとしており、周辺の土地利用検討とあわせて緑化の推進が必要です。